

平成21年度

宝塚市内訪問看護ステーション

事業実績について

(市内全体のまとめ)

宝 塚 市

運営実績報告

H 21 年度

市内訪問看護ステーション

統計

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用者数	男性	220 (44)	212 (38)	209 (36)	213 (38)	212 (34)	208 (31)	204 (32)	203 (32)	203 (35)	199 (31)	196 (29)	207 (34)	年間利用実人数 (医療保険再掲) 850 (157)	
	女性	311 (50)	310 (50)	308 (48)	308 (48)	309 (48)	305 (45)	325 (49)	317 (46)	316 (47)	300 (44)	303 (43)	295 (40)		
	合計	531 (94)	522 (88)	517 (84)	521 (86)	521 (82)	513 (76)	529 (81)	520 (78)	519 (82)	499 (75)	499 (72)	502 (74)		
新規利用者		34 (9)	19 (2)	30 (4)	39 (8)	35 (8)	25 (4)	37 (11)	26 (2)	26 (6)	18 (2)	30 (5)	31 (9)	350	(70)
利用終了者		21 (6)	20 (9)	29 (5)	26 (9)	33 (10)	33 (5)	42 (12)	21 (3)	25 (6)	20 (6)	37 (4)	23 (3)	330	(78)
利用延件数		2902	2663	2865	2853	2699	2624	2898	2674	2806	2519	2440	2860	32803	
(介護保険)															
利用者数		437	434	433	435	442	437	450	442	437	424	427	428	5226	
利用延件数		2240	2088	2257	2285	2145	2128	2333	2107	2173	2017	1958	2320	26051	
(医療保険)															
利用者数		94	88	84	86	82	76	81	78	82	75	72	74	972	
利用延件数		662	575	608	568	554	496	565	567	633	502	482	540	6752	
常勤換算		38.3	37.3	39.7	39.2	37.7	36.9	37.6	36.8	35.6	35.2	36.0	38.7		
主治医数(市外)		219 (82)	216 (81)	217 (81)	231 (91)	234 (91)	234 (95)	232 (100)	234 (98)	237 (97)	229 (94)	227 (95)	232 (99)	実人数 423(181)	
実習受け入れ	看護学生	6	8	18	8	0	6	5	0	6	0	0	0	57	総計 74 名
	医学生	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	6	0	12	
	ヘルパー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	1	0	1	1	0	0	1	0	1	0	5	

主傷病の状況①

平成21年度

市内訪問看護ステーション

統計

		利用者数(人)	構成割合(%)
総 数		850	100%
I	感染症及び寄生虫症	3	0%
(再掲)	肺結核(陳旧性含む)	(1)	(33%)
	その他の感染症及び寄生虫症	(2)	(67%)
II	新生物	120	14%
(再掲)	脳腫瘍	(9)	(8%)
	呼吸器癌	(15)	(13%)
	消化器癌	(48)	(40%)
	泌尿器癌	(23)	(19%)
	婦人科癌	(8)	(7%)
	その他の悪性新生物	(14)	(12%)
	その他の新生物	(3)	(3%)
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫能障害	9	1%
(再掲)	貧血(鉄欠乏性含む)	(5)	(56%)
	その他の血液及び造血器の疾患並びに 免疫機構の障害	(4)	(44%)
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	50	6%
(再掲)	糖尿病(腎障害・神経障害含む)	(50)	(100%)
	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	(0)	(0%)
V	精神障害及び行動の障害	90	11%
(再掲)	認知症 (アルツハイマー病・脳血管性・ピック病含む)	(54)	(60%)
	統合失調症	(12)	(13%)
	気分(感情)障害	(16)	(18%)
	その他の精神及び行動の障害	(8)	(9%)
VI	神経系の疾患	81	10%
(再掲)	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	(3)	(4%)
	パーキンソン病(症候群含む)	(56)	(69%)
	多系統萎縮症(脊髄小脳変性症含む)	(10)	(12%)
	その他の神経系の疾患	(12)	(15%)
VII	眼及び付属器の疾患	1	0%
VIII	耳及び乳様突起の疾患	0	0%
IX	循環器系の疾患	252	30%
(再掲)	高血圧(本態性含む)	(44)	(17%)
	狭心症・心筋梗塞	(7)	(3%)
	心不全(慢性・うっ血性含む)	(42)	(17%)
	脳卒中(後遺症含む)	(134)	(53%)
	その他の循環器系の疾患	(25)	(10%)
X	呼吸器系の疾患	44	5%
(再掲)	肺気腫	(16)	(36%)
	慢性閉塞性肺疾患	(12)	(27%)
	呼吸不全(慢性含む)	(4)	(9%)
	その他の呼吸器系の疾患	(12)	(27%)

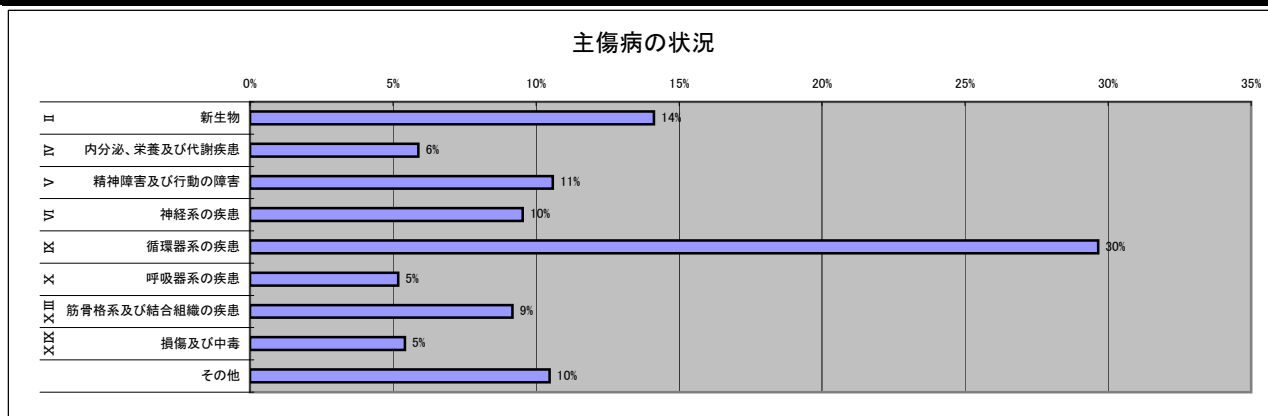
主傷病の状況②

平成21年度 市内訪問看護ステーション

統計

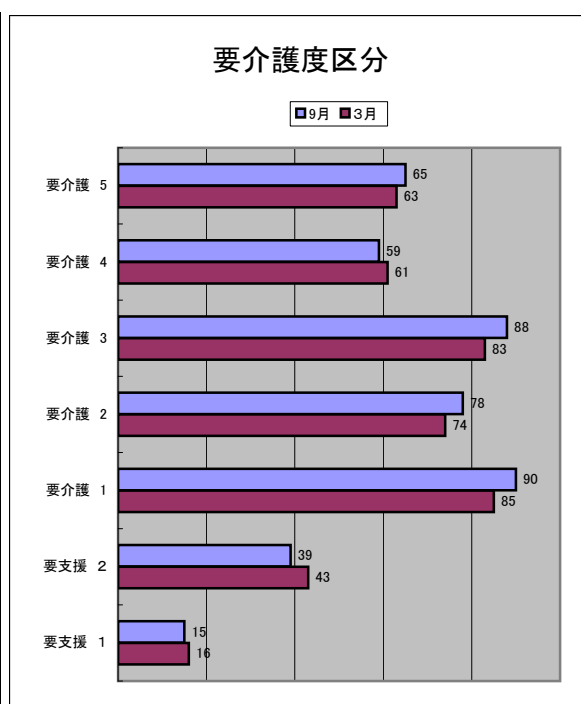
		利用者数(人)	構成割合(%)
X I	消化器系の疾患	23	3%
(再掲)	便秘・腸閉塞	(4)	(17%)
	肝硬変	(12)	(52%)
	その他の消化器系の疾患	(7)	(30%)
X II	皮膚及び皮下組織の疾患	17	2%
(再掲)	褥創	(12)	(71%)
	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	(5)	(29%)
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	78	9%
(再掲)	関節リウマチ(慢性含む)	(14)	(18%)
	関節症(変形性含む)	(10)	(13%)
	変形性腰(脊)椎症	(5)	(6%)
	脊柱(椎)管狭窄症(脊髄狭窄)	(13)	(17%)
	後縦靭帯骨化症	(3)	(4%)
	廃用症候群	(13)	(17%)
	骨粗鬆症	(15)	(19%)
	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	(5)	(6%)
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	26	3%
(再掲)	腎不全(慢性含む)	(22)	(85%)
	神経因性膀胱	(2)	(8%)
	前立腺肥大症	(1)	(4%)
	その他の腎尿路生殖器系の疾患	(1)	(4%)
X V	妊娠、分娩及び産褥	0	0%
X VI	周産期に発生した病態	0	0%
X VII	先天奇形、変形及び染色体異常	1	0%
X VIII	症状、徴候及び異常臨床・異常検査所見	9	1%
(再掲)	老衰	(3)	(33%)
	その他の症状、徴候及び異常臨床所見・ 異常検査所見で他に分類されないもの	(6)	(67%)
X IX	損傷及び中毒	46	5%
(再掲)	骨折	(28)	(61%)
	脊(頸)髄(椎)損傷	(14)	(30%)
	頭部外傷	(4)	(9%)
	その他の損傷、中毒及びその他の外因の影響	(1)	(2%)

(再掲)	特定疾患	(78)	(9%)
------	------	--------	--------



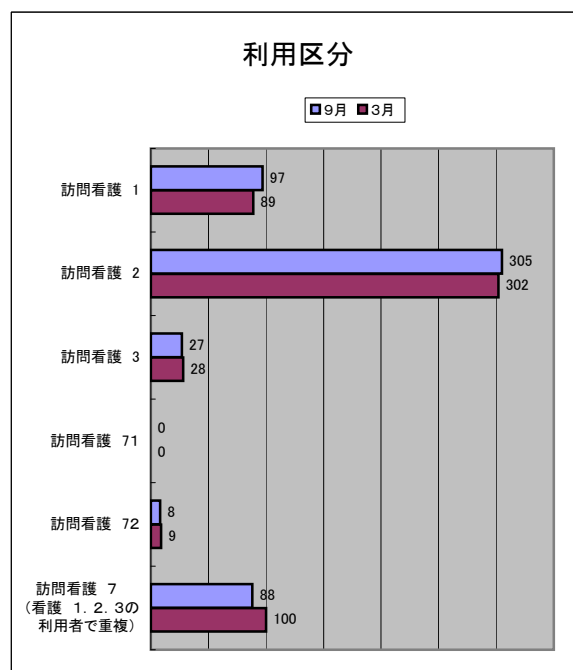
介護保険利用要介護度区分

	9月	3月
利用者数	437	428
要介護 5	65	63
要介護 4	59	61
要介護 3	88	83
要介護 2	78	74
要介護 1	90	85
要支援 2	39	43
要支援 1	15	16
申請中	3	3



利用区分

	9月	3月
利用者数	437	428
訪問看護 1	97	89
訪問看護 2	305	302
訪問看護 3	27	28
訪問看護 71	0	0
訪問看護 72	8	9
訪問看護 7 (看護 1. 2. 3の 利用者で重複)	88	100



- ★訪問看護 1 : 看護師30分訪問
 訪問看護 2 : 看護師60分訪問
 訪問看護 3 : 看護師90分訪問
 訪問看護 7 : 療法士(P.T・O.T・S.T)訪問

24時間連絡体制実施状況

H21 年度

市内訪問看護ステーション

統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均	
緊急時訪問看護加算契約者数	109	108	107	112	108	115	115	117	120	127	120	121	1379	114.9	
24時間連絡体制加算	57	53	54	57	49	36	41	43	43	40	36	37	546	45.5	
相談件数	35	37	31	32	41	26	40	30	36	51	22	17	398	33.2	
相談内容 (主の相談1つ)	病状に関する事	26	20	25	19	31	13	30	19	20	28	14	15	260	21.7
	医療機器装着・使用に関する事	2	3	2	1	3	3	1	3	5	3	1	1	28	2.3
	介護に関する事	0	2	0	1	1	0	3	2	3	2	0	0	14	1.2
	連絡・報告	5	8	2	6	5	5	4	4	6	12	1	0	58	19.3
	その他	2	4	2	5	1	5	2	2	2	6	6	1	38	3.7
出動件数	14	19	12	18	10	7	21	21	18	25	13	5	183	15.3	
出動内容	病状観察	5	6	0	8	4	3	9	13	7	17	7	2	81	6.8
	点滴のトラブル	0	0	1	0	1	0	2	0	1	0	1	0	6	0.5
	排便トラブル	2	4	0	1	2	0	3	0	1	1	0	0	14	1.2
	留置カテーテルのトラブル	2	1	2	1	0	2	1	2	0	0	0	0	11	0.9
	吸引	1	3	0	0	0	0	4	3	4	5	0	1	21	1.8
	創処置	1	0	3	3	1	0	1	1	0	0	1	1	12	1.0
	転倒・転落	0	0	3	1	0	1	0	1	1	0	2	0	9	0.8
	死後の処置	0	2	1	1	1	0	0	0	0	0	1	1	7	0.6
その他	3	3	2	3	1	1	1	2	4	2	0	1	23	1.9	

サービス利用内容 850 名

H21 年度 市内訪問看護ステーション 統計

内訳（重複あり）

（単位：人）

病状観察	850	医療処置	364
バイタルサインの測定 全身状態の観察		カテーテル類の管理 床ずれや創傷の処置 医療機器装着の方の看護 その他医師の指示による処置や管理	
リハビリテーション	516	療養指導	850
日常生活動作の訓練 関節拘縮の予防と訓練 機能訓練と指導 外出への工夫 福祉機器の選定相談 住宅改修に関する相談		栄養・食事指導 療養環境の整備 内服薬の管理 生活リズムの調整方法 事故防止のアドバイス 社会参加への相談	
介護指導・相談	719	清潔ケア	406
健康相談 介護方法の指導 認知症への対応方法の指導 寝たきり予防の指導 サービス資源の相談 介護用品の相談 介護に関する悩み相談 介護者の休養に関する相談		清拭・洗髪 入浴・シャワー介助 着替え・シーツ交換 口腔ケア・爪切り 手浴・足浴	
排泄ケア	341	緩和ケア	83
排便管理・浣腸・摘便 おむつ交換・陰部洗浄		症状緩和に対する看護・疼痛管理 精神的支援 看取りの体制への相談・アドバイス	
精神ケア（利用者や介護者に対して）	658	他職種との連携	850
コミュニケーションの援助 精神的支援・支持的アプローチ 傾聴・共感		主治医への報告・連絡・相談 ケアマネやサービス事業所との連絡調整 病院や保健師との連携	

ターミナルケアの件数 62 名

<看取りの場所> 在宅 39 名

病院 23 名

平成21年度 各ステーションのまとめ

せいれい訪問看護ステーション宝塚

利用者数は平均135名、保険の割合は医療保険2割介護保険8割で大きな変化見られず。要介護3以上の割合も全体の60%以上を占めているまた、医療保険の訪問では、小児の依頼があり2ケースあり在宅ターミナルを含め医療依存度が高く急変のリスクが高い利用者が多い。在宅での看取りは癌ターミナル17名老衰4名と年々看取りの件数が増えている。医療行為が安全に行えるだけでなく、症状のコントロールや精神的な支援(家族を含め)が出来るように看護師の質の向上に今後も努めていきたい。

宝塚市社会福祉協議会 光明訪問看護ステーション

平成21年度は、平均利用者数64名で前年度に比べると10名減となっています。原因として考えられるのは、長期間訪問していた利用者が亡くなれることが多かったり、新規の利用者がきても短期間で終了するケースが多いことがあげられます。介護保険と医療保険の比率は約80%:20%と前年度と変わりませんが、平成21年度は医療保険対象の方の依頼が少ない傾向でした。介護保険利用者のうち、要支援者が20%ほどあり、介護度の軽い利用者も多く、30分～60分訪問が80%を占めています。サービス利用内容も病状観察やリハビリの依頼が多く、予防的な観点での依頼が増えてきたのではないかと思います。ターミナルの件数は7件と少ないですが、在宅死が5名、病院死が2名と在宅での看取りが増えてきています。

宝塚医療生協 訪問看護ステーションひだまり

<現状と傾向>

- ・訪問看護に携わる職員が増えない中、現状スタッフで対応に追われる日々。
- ・老老介護や認知症であり独居という方の訪問が目立つようになり、生活全般を視野に入れた訪問が増えている。
- ・医療面の訪問は必要だが、限度額内に収まらず30分訪問が増えている。
- ・訪問内容としては、認知症・独居のインスリン管理(現在2名)、リハビリ・入浴介助が増えている。

<特に力を入れた点>

- ・グリーフケアであり、ご家族のフォローとし、遺族の方とのつながりを持ち慰安に努めた。
- ・生活全般のケアを要する為、ケアマネ・ヘルパーとの連携を重視した。

訪問看護ステーション 憩

要支援からターミナル期の方々まで、一人一人のニーズに合わせた看護を提供しています。また安心した療養生活を送れるよう24時間オンコール体制を実施しています。

当ステーションでは母体である施設から各セラピストが訪問部門への支援体制を図っており、リハビリに対しても積極的に取り組んでいます。

H21年度のターミナルの方の件数は前年度と大きく変わりはありませんが、在宅での看取りが倍の8件でした。最期を在宅で迎えたいという本人・家族の希望にそったケアや支援が十分に出来るよう努めています。

訪問看護ステーション ルシエール

運営実績報告

- ・新規利用は毎月確実に依頼があるが、終了人数も毎月ある。
- ・実人数は74名で前年度に比べ1.1%増加傾向にあり。
- ・医療保険対象者は全体の2%で前年度より0.7%減少している。

主傷病の状況

- ・1位 循環器 40%
- ・2位 悪性新生物 33%
- ・3位 神経系 16%

利用区分

- ・介護区分2が全体の43%を占めている。
- ・利用区分は訪問看護2が全体の51%を占めている。
- ・訪問看護1. 2. 3と訪問看護7が重複している。全体の30%を占めている。

サービス内容

- ・1位 介護指導相談療養指導 100%
- ・2位 リハビリテーション 70%
- ・3位 精神ケア排泄ケア清潔ケア 30%
- ・ターミナル件数は7件。看取りの場所は在宅が1件で病院が6件。

24時間連絡体制実施状況

- ・月平均0.6件数出動している。病状に関することが100%を占めている。
- ・創処置が全体の85%を占めている。

当ステーションでは全体の63%が老老介護の利用者である。介護協力者がいない、精神的不安や身体的な不安を抱えながらの介護負担となっている。社会的資源を利用し、ケアマネと連携をもち訪問看護としての役割を改めて考えていく必要があり、努めていきたいと思っています。

ステップハウス訪問看護ステーション

当ステーションは小浜ステーションと川面分室の2ヶ所で運営を行っており、介護予防からターミナルの方まで個々のニーズに合わせた看護・リハビリを提供しております。

平成21年度は介護保険の制度改正があった影響で、利用者数や訪問回数の伸び悩みがありましたが、後半は順調に運営し、最終的に利用実人数は前年度に比べ9人増となりました。

利用者は平成20年度までは要介護5の方が一番多かったのですが、平成21年度は要介護1の方が一番多くなっています。なるべく早い段階から訪問看護を予防的に利用したいという方が増加してきているのではないかと考えており、訪問看護の役割が多岐にわたるものであるということを実感しております。

当ステーションでは介護者に対する支援や精神的支援にも重点を置いたケアも実施しており、看取りについてはターミナル件数の75%が自宅で看取る事が出来ております。

24時間連絡体制・緊急訪問については利用を希望される方が年々増加傾向であり、合わせて休日夜間の相談件数が増加傾向にあります。必要に応じて緊急訪問を実施しており、利用者に対して安心した在宅生活を送れるよう援助をしていくことが大切であると考えております。

また各職員のスキルアップとケアの質向上を継続するため、内外の研修にも積極的に参加すると共に、定期的なカンファレンスの場で事例検討会や専門技術の実習などを行っております。